

都農町における再開状況について

1. 家畜導入状況

平成23年10月1日現在

	戸 数				頭 数			
	処分前	再 開	再開率		区 分	処分前	導 入	導入率
牛	186	78	41.94	%	肉用牛繁殖	2,355	1,007	42.76 %
					肉用牛肥育	672	274	40.77 %
					酪 農	24	0	0.00 %
					計	3,051	1,281	41.99 %
豚	6	6	100.00	%	種 豚	781	744	95.26 %

その他 ①肉用牛繁殖で新規（処分前0）・・・2戸（2頭）

②肥育豚の導入（肥育豚のみの経営）・・・1戸（278頭）

※ 今回の県の調査対象 = 成畜（導入頭数）が対象

2. 経営再開していない農家（牛）の意向について

	再開予定	様子見	中止	中止の主な理由
戸 数	11	33	64	①耕種転換 ②高齢・体力
割 合	5.91	17.74	34.41	← 処分前（186戸）の割合

3. 都農町における復興支援について

- (1) 再開にかかる家畜導入の支援
- (2) 畜舎及び関連機材整備の支援
- (3) 情報伝達迅速化のための通信機器整備の支援
- (4) 経営多角化・耕種転換支援
- (5) 特定疾病フリー地域支援（BL）
- (6) 畜産再生・地域生産支援
- (7) 共同埋却地支援
- (8) 水産・商工業に対する支援
- (9) 農家に対する心のケアの支援

1. 口蹄疫及び鳥インフルエンザの発生

平成22年4月20日に発生が確認された口蹄疫は拡大を続け、6月末には町内全ての家畜（牛=5,065頭・豚=12,304頭、計17,369頭）等が処分された。

また、平成23年1月27日には、町内で高病原性鳥インフルエンザが発生。

2月にかけて、感染した農家（2戸）の鶏が処分された。

(1) 口蹄疫の経緯 ※主なもの

月	日	都農町	宮崎県内等
4	20	第1例目の口蹄疫の疑いを確認。 (国内10年ぶり) 都農町口蹄疫対策本部を設置。 都農町自衛防疫推進協議会開催。	県が防疫対策本部（本部長・知事）を設置。
	21	自主消毒ポイント1箇所（JA）設置。	川南町でも感染疑い確認。 県家畜改良事業団が移動制限区域内に入り、精液ストローの供給を停止。
	23	口蹄疫疑似患畜2例目発生。	
	25	自主消毒ポイント1箇所（役場）設置。	川南町の大規模農場で感染疑い。国内では過去最大規模。
	26	町独自の防疫対策として、農協・町にて消毒剤を全畜産農家に配布開始。 役場・商店等マット、石灰による防疫開始。	
	27		県畜産試験場川南支場の豚に症状を確認。直に殺処分開始。
	28		えびの市で初の感染疑い。
	30	国からの消毒剤及び町独自防疫対策としての消石灰を全畜産農家に配布。	川南町の養豚農家で感染疑い。
5	1	自主消毒ポイント2箇所（八幡・都南）設置。	
	5	自主消毒ポイントを24時間体制に変更。 （都南・八幡）	えびの市で2例目の感染疑い。
	6	都農町名貫（多目的広場）に国道10号線消毒ポイント設置。経済連と配合飼料協会により運営。	
	8	口蹄疫疑似患畜3例目発生。	川南町の5農場で感染疑い。
	9	自主消毒ポイント（菰生①・②・③、木戸平）設置。	川南町の7農場で感染疑い。
	11	自主消毒ポイント（湯の本①・②）設置。	
	12	口蹄疫疑似患畜4例目発生。 自主消毒ポイント（藤見）設置。	
	13	自主消毒ポイント（内野々）設置。	県家畜改良事業団のエース級種雄牛6頭が西都市へ避難開始。
	14	自主消毒ポイント（長野・西の郡）設置。	県家畜改良事業団の肥育牛に、感染疑いの症状を所見で確認。 高鍋町での確認は初。
15		高鍋町の県立農業高等学校で実習用の牛から、感染疑いを所見で確認。	
16	口蹄疫疑似患畜5例目発生。 自主消毒ポイント（駅前）設置。		

月	日	都農町	宮崎県内等
5	17	消毒散水車による路面消毒開始。	政府が全閣僚による対策本部を設置。県庁内にも現地対策チームを設置。
	18	自主消毒ポイント2箇所（佃・三日月原）、その他消毒ポイント3箇所（征矢原・山末・東都農駅）設置。	知事が県内全域に非常事態を宣言。農水省小委員会はワクチン接種を提言。
	19	口蹄疫疑似患畜6例目発生。 口蹄疫疑似患畜7例目発生。	政府が児湯の発生農場から10*。圏でワクチン接種、10～20*。圏は早期出荷による緩衝地帯設置を決定。
	20	口蹄疫疑似患畜8例目発生。 口蹄疫疑似患畜9例目発生。	
	21		農水省が時価評価による全額補償を示し、地元首長がワクチン接種を受け入れ。
	22		避難中の種雄牛「忠富士」が感染疑い。知事は残る種雄牛49頭の救済要請示唆。
	23	口蹄疫疑似患畜10例目発生。	
	24	ワクチン接種開始 口蹄疫疑似患畜11例目発生。	
	25	口蹄疫疑似患畜12例目発生。	
	26	口蹄疫疑似患畜13例目発生。 ワクチン接種終了。	
	27	口蹄疫疑似患畜14例目発生。	
	28		種雄牛49頭のうち1頭から、症状を確認したと公表。特措法が成立。
	29	口蹄疫疑似患畜15例目発生。	
	30	口蹄疫疑似患畜16例目発生。 口蹄疫疑似患畜17例目発生。 口蹄疫疑似患畜18例目発生。	
31	口蹄疫疑似患畜19例目発生。 口蹄疫疑似患畜20例目発生。 口蹄疫疑似患畜21例目発生。 口蹄疫疑似患畜22例目発生。	「安平」を含む種雄牛49頭の殺処分が完了。	
6	1	口蹄疫疑似患畜23例目発生。 口蹄疫疑似患畜24例目発生。	
	2	口蹄疫疑似患畜25例目発生。 口蹄疫疑似患畜26例目発生。 口蹄疫疑似患畜27例目発生。 口蹄疫疑似患畜28例目発生。	
	3	口蹄疫疑似患畜29例目発生。	
	5		ワクチン接種済み家畜では初の殺処分が日向市で始まる。
	6	口蹄疫疑似患畜30例目発生。 (町内での発生はこれが最終)	種雄牛5頭について抗体検査でも陰性を確認。救済される見通しとなった。
	9		都城市高崎町で感染症状のある牛を確認、即日殺処分に着手。
10		宮崎市、日向市で初めて感染疑い確認。ワクチン接種区域外への飛び火は、同日確認した西都市を含め計4例に。	

月	日	都農町	宮崎県内等
6	11	ワクチン接種後の殺処分開始。 養豚（681頭）処分。	
	12	養豚（847頭）処分。	
	14	養豚（847頭）処分。	
	15	養豚（1,449頭）処分。	
	16	明田地区（牛 77頭）処分。	国富町で初の感染疑い。
	17	中・下苮生地区（牛 148頭）処分。	
	18	新田・岩山地区等（牛 227頭）処分。	
	19	寺迫・長野地区等（牛 280頭）処分。	
	21	養豚（2,679頭）処分。	
	23	下苮生地区（牛 258頭）処分。	
	24	下苮生・三日月原地区（牛 279頭）処分。	
	25	内野々・木和田地区（牛 328頭）処分。	
	26	佃～上苮生地区（牛 314頭）処分。	
	27	佃～上苮生地区（牛 256頭）処分。	
	28	平山・征矢原地区（牛 336頭）処分。	
	29	征矢原地区（牛 256頭）処分。	
30	藤見・水洗・荒崎地区（牛等 516頭）処分。 ワクチン接種後の家畜殺処分が完了。 （内ヤギ・ミニ豚 37頭を含む）	ワクチンを接種した家畜7万6756頭の処分がすべて終了。	
7	1		非常事態を44日ぶりに一部解除。 不要不急の外出やイベントの自粛を一部緩和した。
	3	町内の猪33頭を殺処分。	
	16	都農町家畜移動制限解除。	
27		宮崎市周辺の移動・搬出制限区域を解除。 99日ぶりに県内から制限区域が消えた。 非常事態宣言を全面解除。	
8	5		堆肥化処理開始。
	9	家畜ふん尿の巡回（温度測定）開始。	県は、県内の畜産農家8076戸を対象に目視検査を実施、結果は「全頭異常なし」。
	25	堆肥の高温化完了。	
	26		すべての家畜ふん尿の堆肥化による発酵消毒処理完了。
	27	口蹄疫復興イベント「川祭り・花火大会」開催。	口蹄疫130日目終息。 県知事が、ウイルス撲滅措置完了に伴う終息宣言。
28	口蹄疫復興イベント「一丸、都農魂」開催。		

(2) 高病原性鳥インフルエンザの経緯 ※主なもの

年	月	日	内 容	備 考	
22	10	10	北海道稚内市の野生カモの糞からH5N1型を確認。		
		29	島根県安来市の採卵農家で感染疑い。		
	11	30	都農町自衛防疫推進協議会を開催。		
		12	19	富山県高岡市でコブハクチョウからH5N1型を確認。	
21	鹿児島県出水市野のナベツルからH5N1型を確認。				
23	1	19	福島県郡山市でキンクロハジロの死骸からH5N1型を検出。		
		21	宮崎市佐土原町の養鶏場で陽性反応。	宮崎県第1例目	
		22	都農町自衛防疫推進協議会を開催。		
		23	新富町の採卵場で陽性反応。	宮崎県第2例目	
		25	鹿児島県出水市の採卵場で陽性反応。		
		26	愛知県豊橋市の採卵場で陽性反応。		
		27	都農町の養鶏場(19,467羽)で陽性反応。	宮崎県第3例目	
		28	都農町(第3例目)の殺処分完了。		
			午後から役場入口での消毒開始。(職員対応)		
			川南町の養鶏場で陽性反応。	宮崎県第4例目	
		29	延岡市北川町の養鶏場で陽性反応。	宮崎県第5例目	
			都農町(第3例目)の防疫措置完了。		
		30	役場入口消毒を民間委託。		
			高鍋町の養鶏場で陽性反応。	宮崎県第6例目	
	31	都農町の3例目、H5N1型と判明。			
	2	1	宮崎市高岡町の養鶏場で陽性反応。	宮崎県第7例目	
			西都市でハヤブサの死骸から陽性反応。		
		2	大分県大分市の採卵場で陽性反応。		
			高千穂町の養鶏場で陽性反応。	宮崎県第8例目	
		5	都農町の養鶏場(86,296羽)で陽性反応。 ※自衛隊が出動し殺処分	宮崎県第9例目	
			門川町の養鶏場で陽性反応。	宮崎県第10例目	
		6	都農町(第9例目)の殺処分完了。		
			宮崎市高岡町の養鶏場で陽性反応。	宮崎県第11例目	
		7	都農町(第9例目)の防疫措置完了。		
			9	都農町の9例目、H5N1型と判明。	
		3	14	愛知県新城市の養鶏場で陽性反応。	
				15	和歌山県紀の川市の養鶏場で陽性反応。
			16	三重県紀宝町の養鶏場で陽性反応。	
			17	延岡市北浦町の養鶏場で陽性反応。	宮崎県第12例目
	18		都農町(第3例目)の搬出制限区域解除。		
	20		都農町(第3例目)の移動制限区域解除。		
22	都農町(第9例目)の搬出制限区域解除。				
26	三重県南伊勢町の養鶏場で陽性反応。				
28	奈良県五条市の養鶏場で陽性反応。				
3	1		都農町(第9例目)の移動制限区域解除。		
		役場入口での消毒を終了。			
	5	門川町の養鶏場で陽性反応。	宮崎県第13例目		
	13	千葉県千葉市の採卵場で陽性反応。			
16	"				